

郷

六年 11
筆順 尹 犯 郷
オン キヨウ・ゴウ
クン

成り立ち



「村」や「町」の意味を表した「おとさと」とその対称形の「シ」と、この字の発音を表す「ヨウ」とを組み合わせて作った字です。

自分の住む村や町だけでなく、近所の村や町をふくめた「いなか」の村や町を表した字です。

「ふるさと」の村や町のことです。【例】郷土、帰郷、望郷、同郷、郷愁。

単に、「村里」や「土地」の意味にも使います。【例】水郷、近郷、異郷、他郷。

使い方

▽ぼくのおかあさんの故郷は、長野県です。今年の冬は帰郷して、みんなでスキーを楽しみました。
▽旅に出て長いことたつと、だれでも望郷の念にかられるものです。だれにとっても自分の家や、自分の住む町は、なつかしく、郷愁をそそるものです。

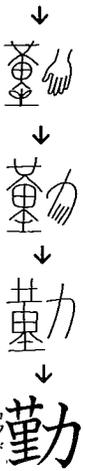
熟語例

▽郷土（自分が生まれ育った土地）
▽故郷（自分が生まれ育った土地。ふるさと）
▽帰郷（故郷に帰ること。）
▽望郷（故郷をなつかしむこと。）
▽同郷（故郷が同じであること。「同郷の友だちが、たずねて来た」などというふうには、つかいません。）
▽郷愁（故郷をなつかしいと思う気持ち）
▽水郷（水辺にある土地。川や湖で有名な村など。「スイキヨウ」とも読みます。）
▽近郷（近くの村。「近郷近在に聞こえた大金持ち」などというふうには、つかいません。「近在」というのも、「近くの村」の意味です。）
▽異郷（よその土地。【例】「異郷をさすらう」など）

勤

六年 12
筆順 一 ャ 苜 莖 莖 勤
オン キン・ゴン
クン つと日める日まる

成り立ち



「黄（年136）」と「土」とを組み合わせて、「オウド」という意味を表した「キン」と、「働く」意味の「力」とを組み合わせて作った字です。

中国には、黄土と言つて、粒の細かい土の層が広くあることは大そう有名です。「黄土のように細かく心を使つて、力いっぱい働く」ことを表した字です。このことを「勤める」と言います。「勤める」ことを表した字です。

【例】精勤、通勤、忠勤、出勤、夜勤、勤勞、勤務、勤勉、勤怠。

使い方

▽ぼくのおとうさんは、出勤する時は、いつもおかあさんの作ったお弁当を持って行きます。おかあさんのお弁当は、栄養のバランスがとれていて、良いのだそうです。
▽わたしは毎日、勤勉に予習・復習をしています。予習をすると先生の言葉が良くわかるし、復習をすると習ったことを忘れないからです。

熟語例

▽精勤（熱心に勤めること。「毎日、精勤くろろうさま」などというふうには、つかいません。）
▽通勤（勤めている場所に通うこと。）
▽忠勤（忠実に勤めること。）
▽出勤（勤めに出かけること。）
▽夜勤（夜の勤め。「夜勤のおまわりさん」などというふうには、つかいません。）
▽勤勞（勤務や労働など、報酬を得るための仕事）
▽勤務（職務として勤めること。）
▽勤勉（仕事や勉強をまじめにやること。）
▽勤怠（勤めることと、怠けること。）